ここで紹介するニュースは、ほとんどの場合、日頃からOS・アプリケーション・アンチウイルスのデータベース等を常に最新の状態に保つこと、併せて、UTM導入等によるネットワーク全体の防御を行うことで対策できます。

●Windows10のファイル転送プロトコルに脆弱性、緊急パッチがリリース

https://forest.watch.impress.co.jp/docs/news/1240665.html
https://support.microsoft.com/help/4551762
https://portal.msrc.microsoft.com/ja-JP/security-guidance/advisory/ADV200005

このニュースをザックリ言うと・・・

- 3月11日(日本時間)、マイクロソフト(以下、MS)より、Windowsのファイル転送等のためのプロトコルSMBに脆弱性が見つかったとして注意喚起が出されています。

- 脆弱性はWindows 10のSMBv3(3.1.1)に存在し、悪用により、SMBを実行するクライアントないしサーバーが乗っ取られる可能性があるとされていました。

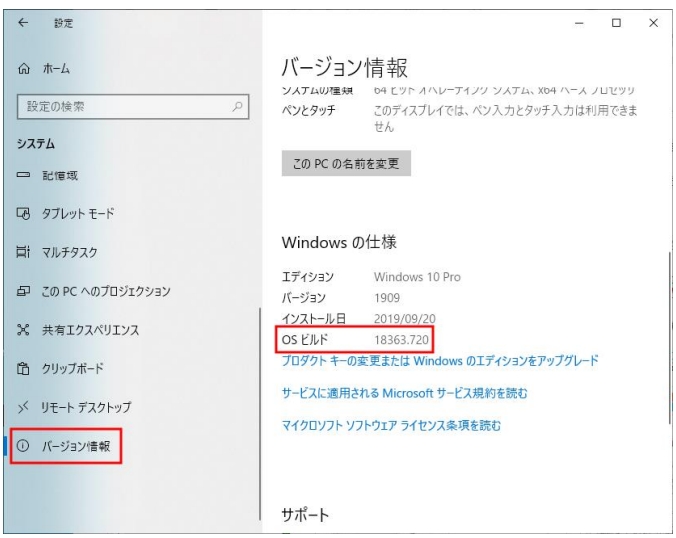
- 同12日に定例外となるセキュリティパッチ「KB4551762」がリリースされており、適用が強く推奨されています。

AUS便りからの所感等

- 脆弱性はWindows 10のバージョン1903以降に実装された圧縮機能に存在する一方、Windows 8.1以前あるいは10でも1809以前には影響しないとされています。

- SMBポート(TCPポート139, 445番等)にインターネット上からアクセス可能である可能性は低いとみられますが、社内LAN上にマルウェアが侵入した場合、同一LAN上のPCやWindowsサーバーが脆弱性を突かれ、一気に感染が拡大する恐れがあります。

- 3月11日には同日に月例のセキュリティパッチがリリースされていましたが、その時点では当該脆弱性の対策は行われておらず、この週には二度パッチがリリースされていますので、OSビルド番号をチェック(https://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/1707/31/news028.html)し、最新のパッチが適用されている(ビルド番号が18363.720または18362.720である)ことを確認するようにしてください。



●求人広告改ざん…元従業員によるログインで

https://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/2003/11/news139.html
https://doctorstretch.com/pdf/20200311.pdf

このニュースをザックリ言うと・・・

- 3月11日(日本時間)、ストレッチ専門店「Dr.ストレッチ」を運営するフュービック社より、同社等の名誉を毀損する虚偽の内容の求人広告が出されていたと発表されました。

- 求人広告は同店のフランチャイズ加盟企業であるつながり社が転職サイトに掲示していましたが、2019年12月以降つながり社の当時の従業員(以下、元従業員)によって内容を改ざんされていたことが発表で明らかになっています。

- また、元従業員は今年1月に退職した後も、外部から自分のアカウントにログインし、引き続き広告の改ざんを行っていたとのことです。

- フュービック社では、直営店に対し義務付けている、セキュリティ・従業員の労務環境保持・顧客個人情報保護のための監査体制を加盟店にも同様に義務付けるとしています。

AUS便りからの所感

- 元従業員は在籍中に転職サイトのアカウント管理を担当していた一方、退職後にアカウント情報が変更されていなかったことから、外部からログインが可能な状態にあったとのことです。

- 広告サイトやSNSのような自社宣伝に関わる外部サービスのアカウントについては、それを貸与した従業員の退職時には速やかに無効化またはパスワードを変更し、外部から利用されないようにすることが重要です。

- 各従業員に対し作成したメールやOffice365等クラウドサービスのアカウントについても、外部からのメールや機密ファイルを取得される可能性に考慮し、アカウントの削除を含めた対策をとるようにしてください。


ねとらぼ

2020年03月11日 22時11分 公開

「残業代なんて出すわけない」物議を醸したDr.ストレッチの求人広告、元社員による改ざんだった　退職後もパスワード変えず【3月13日追記】

[池谷勇人, ねとらぼ]

Share　B! 538　Pocket　0

「新型コロナは体調管理ができてない証拠」などの文章が物議を醸していた、ストレッチ専門店「Dr.ストレッチ」の求人広告(※)について、フランチャイズ運営元であるフュービックは3月11日、サイトの改ざんを行った人物について「フランチャイズ加盟企業(つながり)の元従業員」だったとの調査結果を公表しました(PDF)。つながり社は今後、元従業員に対し民事および刑事で責任追及を行っていくとしています。

※広告を直接掲載していたのはフランチャイズに加盟していた「つながり」社で、フュービックは「Dr.ストレッチ」のフランチャイズ運営元

●厚労省をかたる偽サイトに注意…アクセスすると被害の恐れ、閲覧時にはアドレス確認を

https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2003/10/news115.html
https://www3.nhk.or.jp/shutoken-news/20200309/1000045231.html
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_03835.html

このニュースをザックリ言うと・・・

- 3月9日(日本時間)、厚生労働省より、同省をかたる偽のWebサイトが現れているとして注意喚起が出されています。

- 偽サイトは、新型コロナウイルス感染症に対する政府の対応の一部を掲載していますが、同省が使用する「mhlw.go.jp」ではないドメイン名が使われている他、本文には中国語が入り交じるなど異なる点もあるとのことです。

- 同省では、偽サイトへのアクセスにより、何らかの被害を受ける恐れがあるとし、サイトを利用する際はURLを確認すること、また偽サイトを見つけた場合は、同省公式サイトの「国民の皆様の声」の募集フォームから連絡することを呼びかけています。

AUS便りからの所感

- 前述のニュース記事では「www.●●●.com」というドメイン名の偽サイトの情報が引用されており、既に当該サイトは閉鎖している模様ですが、より巧妙に同省のドメイン名に似せたドメイン名のサイトが現れる可能性は高いです。

- 新型コロナウイルスに関する情報を得ようとするユーザーを陥れることが目的で、またフィッシングメールやSMSからの誘導といった手口が用いられる等も考えられますので、こういった情報に常に注視し、ブラウザー・アンチウイルスおよびUTMのアンチフィッシング機能等を有効にしつつ慎重に行動することを心がけることが肝要です。

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

厚生労働省ホームページの偽サイトにご注意ください

現在、厚生労働省ホームページになりすました偽のホームページが開設され、新型コロナウイルスの政府の対応等に関連するかのような情報を掲載し、閲覧を誘導しているものが見つかっています。アクセスすると被害を受ける恐れがありますので、ご注意ください。
厚生労働省ホームページアドレスは、https://www.mhlw.go.jp/です。
厚生労働省ホームページを利用する際には、ブラウザのアドレス欄を必ずご確認ください。
厚生労働省ホームページをかたるサイトを発見した場合は、「国民の皆様の声」より連絡お願いします。
https://www.mhlw.go.jp/form/pub/mhlw01/getmail